

紙器加工

紙工訓

直線志向

目標

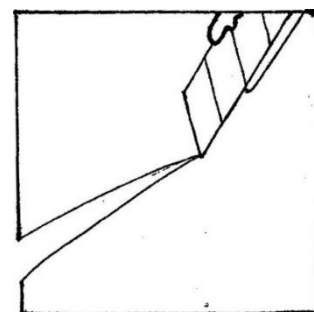
- 1 ミリ単位の点打ち、切り取り、折り曲げなどを通して正確性を高める。
- 2 完成度の高い製品作りを行うための、知識、技能を習得する。
- 3 ミリ単位の仕事にも長時間取り組める集中力と持続力を養う。

【指導する上で大切にしていること】

- 『紙』は身近な素材であり、得てして安易に扱ってしまいがちである。製品となる大切な素材であることを意識して作業をするように指導をしている。
- 製作だけでなく、準備から片付けまでが仕事であるという意識がもてるようにする。効率よく声掛けをして生徒がてきぱきと準備、作業ができるようにしている。

【製品作りで心がけていること】

- 細かな作業ではあるが、自分の行った作業は自分で確認し、自分の担った作業に責任をもつ。
- 製品に愛着がもててこそ、次の物作りへの意欲につながるものと考え、自らの製品を大切に作る。
- カッターナイフ等の道具の扱いは慎重にし、けががないよう安全教育に心がけている。



〈学習内容〉

1 年生	2 年生	3 年生
前期は基礎練習を行い、製品作りができる技能が身に付くようにしている。後期で基礎箱の製作を全員が、全工程を担って製品作りを行う。完成品の納品までを経験できるようにしている	それぞれの生徒の技能に合わせて製品作りを行っている。ダブルと呼ばれる厚みのある白ボール紙も使用している。分業して製品作りを行っている。	主に外部、内部（学校内）からの依頼品を製作している。納期や依頼数があることで、良品を製作する意欲や態度を身に付けている。共同作業で量産への意識を高めている。

